「晴れの国おかやま24時間100キロ歩行」（2017年5月3～4日に開催）の救護班サポーター募集について

2017年「晴れの国おかやま24時間100キロ歩行」実行委員会・救護委員長の松田浩明と申します。

この大会は15年前に少人数の仲間から始まり、2012年度からオープン化し今年で6年目を迎えます。昨年度からチャレンジャー1000人の規模になり、全国でも有数の100kmウォークの大会となっております。

この大会では、岡山市の後楽園を出発し、西大寺、瀬戸内市、備前市（閑谷学校）、和気町、赤磐市を経由して後楽園に戻る100キロのコースを、5月3日の午前10時から4日の午前10時までの24時間以内に完歩することにチャレンジします。チャレンジャーとして子どもは小学5年生から、成人では70歳代の方まで、老若男女を問わず全国から集います。100キロという距離も長いのですが、24時間という時間も長く、チャレンジャーは歩く中で、自分と向き合い、サポーターとも触れ合い、人それぞれ心に様々な思いが刻印されます。第２回おかやまマラソンが盛況に終わりましたが、この「晴れの国おかやま24時間100キロ歩行」を岡山の初夏の名物にしたい思いで実行委員会のメンバーは、サポーター、チャレンジャーの皆さまとともに頑張っております。今年もチャレンジャー1000名、サポーター100名を募集しています。また、今年は備前中学校（43ｋｍ地点）をゴールにした親子チーム（30組）が歩く企画も行います。

現在、積極的に岡山の企業、大学、専門学校、スポーツクラブ等へ出向いてチャレンジャーはもちろん、サポーターを募集しています。過去には、チャレンジャーで参加できなかったのでサポーターから、チャレンジャーとしてサポートしてもらったのでサポーターをやろうという方、チャレンジャーの経験から実行委員会に参加した方もおられます。救護班は去年、医師７名、看護師８名、救命救急士１名、一般の方１７名で編成され、救護ポイントにおいて時間を区切って救護を行いました。「救命おかやま」の方にもお手伝いいただきました。そして去年に引き続き、今年も「救命おかやま」のメーリングリストを使用させていただき、救護班サポーターを募集させていただける機会を頂戴いたしました。

救護班の活動内容ですが、100キロの行程の中に6か所の救護ポイントが時間ごとに設けられております（別紙pptファイルに記載）。100キロ歩行の救護対象は、日中は【熱中症、脱水症状】が多く、日が暮れて深夜から朝になると【疲労、低体温】、【足腰の痛み（マメ他の処置）】となります。マラソンと違い歩くため、AEDを使用するような心肺蘇生は今まではありませんでした（AED、体温計、血圧計、パルスオキシメーター、基本的な救急処置用品の用意はしております）。その救護ポイントで医師はチャレンジャーの健康状態を見極め、歩行継続可能かどうかのトリアージを行います。リタイヤ勧告、病院搬送の指示などです。看護師、他の医療関係の方は医師とともに、創傷処置、湿布貼付、アイシング、水分補給、保温等を行います。基本的に救護ポイントでは病院でする医療行為はしない方針です（薬の処方、縫合等）。必要な場合には病院受診、搬送を行います。去年に引き続き、コース近隣の病院、消防署には、大会内容と必要な場合の救急搬送・受診等の依頼があることを事前にお願いする予定です。

別紙に救護ポイントの場所と設置時間を記載しております。1か所でも構いませんので、お手伝いできる方、興味のある方、是非ともご協力いただきたく願っております。「晴れの国おかやま24時間100キロ歩行」のHP（http://okayama24h100k.main.jp/）からサポーター募集のページ（http://okayama24h100k.main.jp/supporter/）に入っていただき登録をお願いしたいと存じます。サポーター可能時間の選択の欄は一般サポーター用ですが、一応選択してください。その次に医療資格をチェック、記入する欄に記載していただき、備考の欄に「救護班希望」とサポート可能な「救護場所、時間」を記入していただけますとこちらで把握してご連絡いたします。サポーター募集の締め切りは４月6日となっておりますが、私のメールアドレス（hmat39@ybb.ne.jp）に直接、ご連絡いただいてもかまいません。その場合は4月6日以降でも結構です。

何卒、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

晴れの国おかやま24時間100キロ歩行 実行委員会　救護委員長　松田浩明

E-mail: hmat39@ybb.ne.jp

勤務先：

医療法人三祥会　幸町記念病院　外科

〒700-0923　岡山市北区大元駅前3-57　Tel：086-233-3011　Fax:086-225-1494

